

先の 10 月 19 日(日)に行われた平成 19 年秋の情報処理技術者試験について、先月発表された基本情報 / 初級シスアド試験を除く、7 試験の合格発表がありました。同時に発表されたスコア分布などの統計データをもとに、上級システムアドミニストレータ試験の合格発表コメントをお知らせします。

上級システムアドミニストレータ試験(SD)

[平成 20 年秋期の上級システムアドミニストレータ試験 統計情報]

応募者	2,331 人
受験者	1,384 人
合格者	173 人
合格率	12.5%

今回の平成 20 年秋試験では、昨年同時期の平成 19 年秋の試験に比べ応募者が若干減りましたが、合格率は前回同様に高く、これまでで最高の 12.5%でした。今回の試験の傾向や特徴をまとめると、次のようになります。

[午前問題]

- ・過去問題の比率は約 7 割でした。他の試験との重複出題も多く、新試験でいっしょになるシステムアナリスト試験とは 55 問中 36 問が同じ問題でした。計算問題でやや難しい問題がありましたが、全体には従来どおりのレベルで解きやすかったといえます。
- ・新傾向または新しい用語に関する問題は次のとおりです。

問 3 クラスタ構成について

問 8 ロードバランサの基本機能

問 19 ITIL が推奨する SLA の項目

問 24 Web コンテンツの情報アクセシビリティの配慮

問 30 内部統制に関係する者の役割と責任

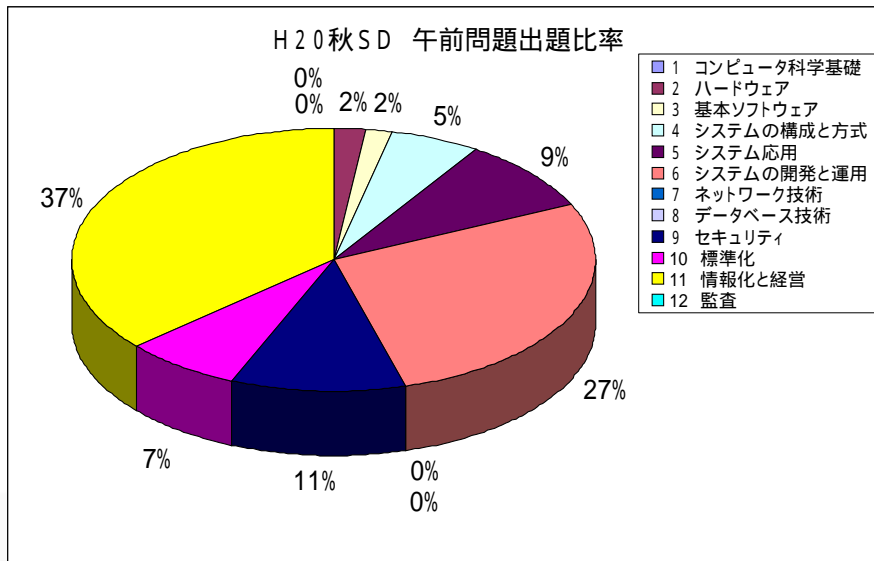
問 33 共通フレーム 2007 の目的

問 34 JISQ27002:2006 の説明

問 41 無形固定資産の計上費用について

問 55 電子申請の特徴について

平成 20 年秋期の上級システムアドミニストレータ試験 午前問題出題比率



(午後問題)

・午後 問題の出題分野とテーマは次のとおりです。設問の意味を正しく読み取らないと間違えやすい問 2 と問 3 が、やや難しい問題だったといえます。

- 問 1 住宅リフォーム商談の改善
- 問 2 経営統合における営業プロセスの見直し
- 問 3 契約業務の改善
- 問 4 回転すし店の業務改善

・午後 問題の出題分野とテーマは次のとおりです。

問題内容が、さまざまな業種で共通するテーマで記述しやすいといえます。データ活用をテーマとした問題は良く出題されます。

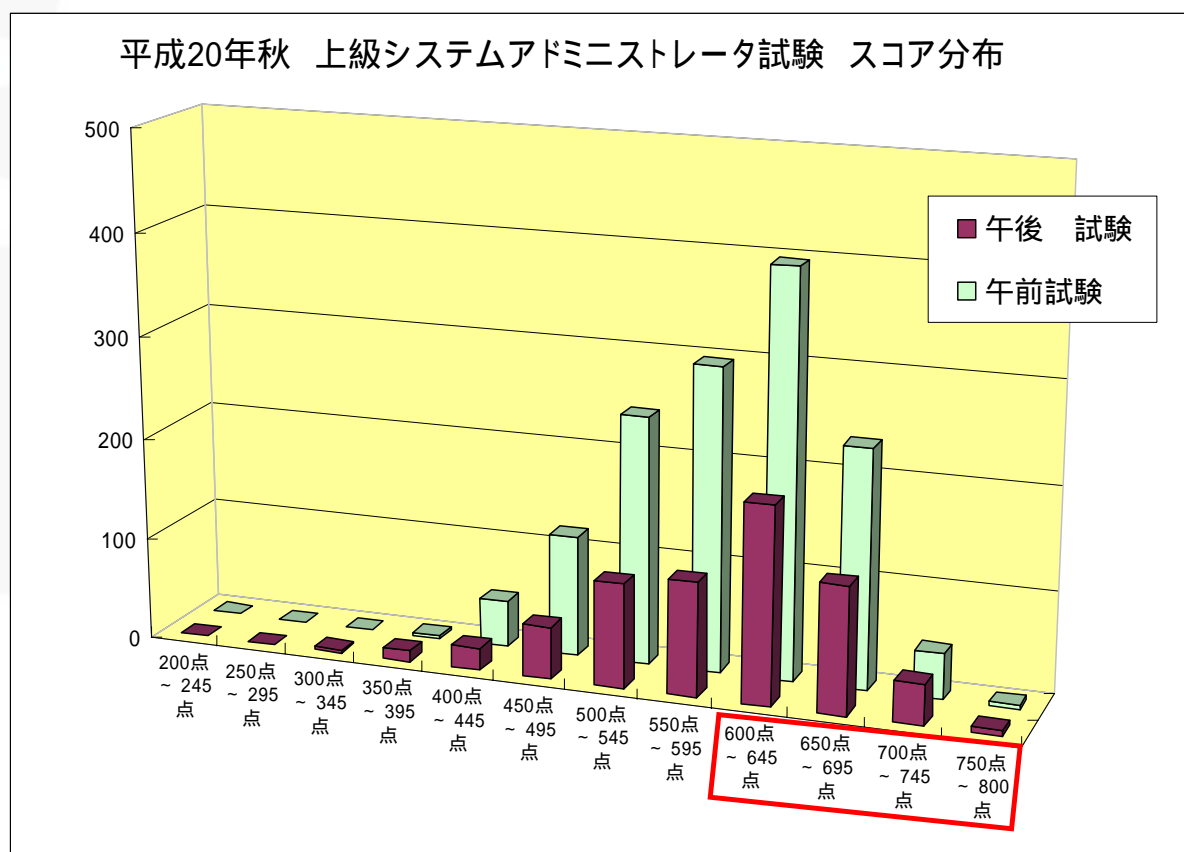
- 問 1 提供サービスの競争力強化を図るための IT 活用
- 問 2 顧客層を拡大するためのデータ活用
- 問 3 内部統制の取組みにおける IT 業務処理統制

発表された上級システムアドミニストレータ試験のスコア分布をグラフと合わせて示すと、次のようになります。

[平成 20 年秋 上級システムアドミニストレータ試験 スコア分布]

スコア	午前試験	午後 試験	午後 試験	合格者
200点 ~ 245点	0	0		
250点 ~ 295点	0	0	評価D 46	
300点 ~ 345点	0	3		
350点 ~ 395点	3	11		
400点 ~ 445点	46	22	評価D 58	
450点 ~ 495点	118	51		
500点 ~ 545点	242	102		
550点 ~ 595点	297	111	評価D 82	
600点 ~ 645点	396	192		
650点 ~ 695点	233	124		
700点 ~ 745点	45	40	評価D 173	173
750点 ~ 800点	4	5		
計	1,384	661	359	173
対前試験比率		47.8%	54.3%	48.2%
午前免除者(概数)				

合格者数		採点者数の割合	合格者数との差
午前 600 以上合計	678	49.0%	505
午後 600 以上合計	361	54.6%	188
午後 -A 評価	173	48.2%	0



ここで、午前試験で合格基準点のスコア 600 以上の人が 678 人(受験者の 49.0%)、午後 で合格基準点のスコア 600 以上を超えている人が 361 人(同 54.6%)、午後 で合格の評価 A の人(合格者)は 173 人(同 48.2%)でした。それぞれの試験の通過率はだいたい 5 割ぐらいになっています。論文の記述に慣れていない人は、午後 の論文対策はしっかり準備して、試験に臨む必要があります。

午後の試験で合格スコアに至らなかった方は、今後の対策として、午前試験で出題される専門

知識の理解度をまず上げ、解答テクニックをしっかりと身につけてください。論文は通信教育で実施している添削サービスが効果的です。

(今回合格された方へ)

合格された方で来春のデータベーススペシャリスト、プロジェクトマネージャ、システム監査技術者などの試験を受けられる方は、試験の出題範囲が大きく変わりますので、早めに学習することが必要です。高度系試験は、すべての午前試験が同じで、試験範囲に追加された分野として、情報に関する「基礎理論」や技術系の「データベース、ネットワーク」などがあります。これらの内容については、早めに学習して出題ポイントをおさえる必要があります。

また、午後論文試験であるシステム監査技術者を受験される予定の方は、合格するために第三者の論文添削が欠かせません。弊社の通信教育では必要なテキスト、模擬試験に加え、論文添削も行っていますので、ぜひご利用ください。

アイテックでは新試験制度に合わせて、通信教育で使用する基本的なテキスト、予想問題集、本試験問題集、午後試験対策本などを新たに改訂しました。これらの書籍は書店でもご購入いただけます。また、試験対策を受験対策のプロ講師がセミナーで行う「合格ゼミ」は好評を頂いており特に、一人で試験勉強がなかなか進まない方に、ぜひお勧めしたい講座です。

通信教育コースでは、午前試験対策テキスト、テスト(論文あり試験では添削含む)をすべて含んだ標準学習期間6か月の「総合コース」と、問題演習を中心に行うための最新問題集と模擬テスト(2回)を含んだ標準学習時間3か月の「短期コース」など教育メニューをたくさん用意しておりますので、ぜひご利用ください。

(今回残念ながら不合格だった人)

上級システムアドミニストレータ試験は今回が最後で、次回の試験はシステムアナリストと統合された来秋のITストラテジスト試験になります。

今回の午前試験のスコアが500点~595点の人は、合格スコアの600までほんとうに“あと一歩”のところまで実力が来ていますので、身に付けた知識が薄れないうちに、早めに次回試験の対策を始めましょう。

なお、次回からの新試験制度では、試験の出題範囲が大きく変わりますので、早めに学習することが必要です。高度系試験は、すべての午前試験が同じで、試験範囲に追加された分野として、情報に関する「基礎理論」や「サービスマネジメント」、「システム監査」、「システム戦略・経営戦略」などがあります。これらの内容については、早めに学習して出題ポイントをおさえる必要があります。

また、午後試験のスコアが600点に満たなかった人は、確実な解答を出すために、落ち着いて問題を解き、解答が正しいかを検証する力を付けましょう。時間を決めた問題演習やアイテックの模擬試験を会場で受けるなど、試験会場の環境を考えたいうで問題を解く訓練を行うのが有効です。

この他、アイテックで出版している「応用情報・高度に出る午前共通知識問題」や予想問題集、試験対策を受験対策のプロ講師がセミナーで行う「合格ゼミ」、通信教育コースでは、午前試験対策テキスト、テスト(論文あり試験では添削含む)をすべて含んだ標準学習期間6か月の「総合コース」と、問題演習を中心に行うための最新問題集と模擬テスト(2回)を含んだ標準学習時間3か月の「短期コース」、専門分野と午後・論文対策に絞り込んだ「専門+午後コース」など、教育メニューをたくさん用意しておりますので、ぜひご利用ください。

各コースの内容は弊社のホームページからご覧いただけます。

<http://www.itec.co.jp/>

(以上)